

プログラム名 (40字以内)	保育園や幼稚園、自治体の子育て支援の取り組みについて知ろう		
団体名/所属	大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	3人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	保育・幼児教育施設、子育て支援施設に訪問するため、最低限の礼儀作法・社会常識を身に付けていること。施設関係者による解説・インタビューは日本語で行われているため、留学生の場合には日本語をある程度理解できることが望ましい(翻訳ツールの使用は可能であるため、各自で判断してください)。		
活動期間	事前学習は2025/8月中旬頃を予定。 現地視察は2025/9月中旬～下旬のうち1日。	主な活動予定場所	渋谷保育園、co渋谷(いずれも東京都渋谷区)
プログラム実施の目的	我が国の保育・幼児教育ならびに子育てに関する制度政策・実践について、実践現場の視察を通して理解を得ること。		
具体的な内容(800字程度)	本企画は、近い将来、多様な領域をけん引する存在となる東大生が、少子化対策や保育の質の向上という我が国における最重要社会課題の解決に向けた自治体等の取り組みについて見聞を広げると共に、将来子育ての当事者や支援者となった際に必要となる保育・幼児教育施設や子育て支援に関する基本的な知識を得ることを目的として実施するものである。 活動内容・スケジュール ・顔合わせ・説明会(オンライン、1時間程度) ・事前学習(顔合わせから視察日までの間に、各自で指定された動画教材を視聴し必要最低限の知識を得ておく) ・視察日 午前中に渋谷保育園、午後にcoしぶやを訪問し、保育や子どもたちの様子を見学します(順番が前後する可能性あり)。その後、渋谷保育園もしくは東京大学本郷キャンパスにて振り返り活動を行います。 ・振り返り活動後、報告書(感想文、A4・1枚程度)を提出していただきますが、報告書は各施設にフィードバックとして提供します coしぶや https://shibuya-city-neuvola.tokyo/facility/coshibuya/		
【総額】参加するための費用	自宅から施設まで、および施設間移動のための往復交通運賃(電車、バス代)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	1,000円程度		
【内訳】参加するための費用(その他)	なし		
奨励金額(予定)	0円		
備考	視察時の服装は私服です(清潔感があり、露出度の低いものであればそれ以外は自由)。 施設見学時には靴下を着用してください。 ☆参加希望者へのご案内 8月6日、7日、8日に教育学部の集中講義「発達保育実践政策学概論」が設定されています。 事前学習として視聴していただく動画教材は、この集中講義の中から指定します。 集中講義の履修と併せて本プログラムにご参加いただくと、より有意義な現地訪問になると思いますので、ぜひ受講をご検討いただければと思います。 なお、一部講座のみの聴講も可能ですがその場合は事前にご相談ください。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/eventlisting/other/46406/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		